

石光貞清 いしみつ 陸軍軍人。慶應四年八月二十一日肥後國生れ、昭和十七年五月二十五日歿（一八六一—一九四二）。變名菊地正三。明治二十二年陸軍十寺員學校卒。日清戦争では中尉として臺灣戦に従軍。二十一年龍江に潜入、豫備役後と哈爾濱等に諜報活動に従事。

著書『諜報記』（昭和十七年二月）『十八日會英書院』、『城下の人』
（昭和十八年七月八日）『松堂』、『續諜報記—シシツヤ篇』（石光眞人編、昭和二十年五月）『日會英書院』、『城下の人』（昭和二十二年六月十五日龍星閣）、『曠野の花』（昭和二十二年七月）『日會英書院』、『望郷の歌』（昭和二十二年十月）『日會英書院』、『誰のたのしみ』（昭和二十四年十一月十五日龍星閣）等。